

内科 小児科 漢方
産科 婦人科
浮田医院
だより



第 44 号

発行所: 内科 小児科 漢方 浮田医院

〒520-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28

TEL 0740-32-3751

FAX 0740-32-3795

(パソコン) <http://www.2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>(携帯) <http://www.ukita.gr.jp/i/>

e-mail: kanpou@mui.biglobe.ne.jp

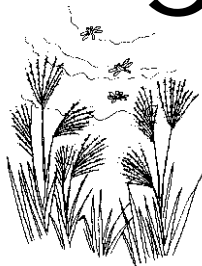
発行日: 2003年10月5日(日)

発行者: 浮 田 徹 也



漢方薬のよさ(44)

子宮内膜症 I



朝夕過ごしやすくなりました。
野には草花が咲き乱れ、コスモス、萩、ススキなどに秋を感じます。
これから、どんぐり、栗、もみじ、イチヨウ・・・を楽しむ日々が待っています。

今年の夏は、湯郷温泉(岡山)

でゆつくりとした時間をもてました。
野の花があるがままに生けられ、廊下、部屋、天井、お風呂、庭、木々にいたるまでゴミひとつなく、気配りのゆきとどいた旅館(季節の里)でした。

一〇月に終わりに、和歌山で東洋医学会が開かれます。色々な分野の医師たちと交流できることを楽しみにしています。

今月は、**子宮内膜症**です。

月経痛(下腹部痛、腰痛、年々増強)、性交痛、直腸刺激症状(排便痛、下痢)、不妊症(不妊症の四〇〜五〇%は子宮内膜症)など



イチヨウともみじ(万徳寺:小浜)

の症状を自覚し、内診、超音波検査、MRI検査でチョコレート嚢腫、子宮の腫大などの所見があります。
漢方治療は、瘀血(微小血行障害)、水毒(水の停滞)、熱証(炎症)、脾虚(胃腸虚弱)、血虚(貧血、血液不足)などに対して行い、瀉

下(便秘)を併用する事もあります。
西洋治療は、鎮痛剤、ホルモン剤、手術などがあります。当院は、漢方治療を中心とし、西洋治療も併用しています。

では、実例を挙げましょう。

三四歳女性、**子宮内膜症**、月経痛、月経過多、性交痛、便秘(三日に一度)、足の冷え、月経周期四〇〜五〇日を訴え来院。顔は青黒。
お腹は硬く、心下部も硬く、両側肋骨下と両側臍傍に抵抗圧痛。脈は弦、沈。舌は暗紅紫色、薄い白苔、舌下静脈の怒張。子宮は鷲卵大に腫大、右卵巣には5cmのチョコレート嚢腫、子宮の周囲に圧痛。そこで、芍婦調血飲第一加減十四逆散+大黃+サフランを処方。二ヶ月後、月経痛、月経過多、便秘が消失。六ヶ月後、性交痛が消失。二年後、卵巣のチョコレート嚢腫は2cmに縮小、三年後、妊娠。出産後も再発を予防するために漢方薬を継続している。

六六歳女性、**脳梗塞後遺症**(両下肢麻痺、痛み)、便秘、下肢のむくみ、頭痛、肩こりを訴えて来院。顔は赤黒い。お腹は弱く、両側季肋部に軽度抵抗、臍上に動悸、臍





下は軟弱、脈は細く、遅い。舌は淡暗色、薄い黄苔。そこで、釣藤散+疎経活血湯+釣藤末+附子を処方。二週間後、体調がやや改善し、肩こり、頭痛、便秘が改善。三ヶ月後、両下肢の症状も軽くなった。3年後の現在も継続中。

五七歳女性、冷えとのぼせ、イライラ、頭痛、肩こり、腰痛、便秘、足の冷えで来院。四年前に閉経。二年前から次第に色々な症状が出てきた。顔色は良好で、両頬は赤い。腹力は普通、心下部に軽い抵抗、両側肋骨下部に抵抗と圧痛、臍上悸、両側臍傍に圧痛、臍下は軟弱。脈は細、速い。舌は暗紅色、薄黄苔。そこで、加味逍遙散+四物湯+釣藤末+大黃を処方。二週間後、体の疲れ、肩こり、便秘が改善。三ヶ月後、冷えとのぼせ、頭痛などよくなる。三年間継続して廃業。その後、更年期障害の症状は再発していない。

二四歳女性、冷え、疲れ、胃のもたれ、むくみ（月経前に悪化）で来院。顔は青白く、むくみがあふ。お腹は軟弱、心下部でジ

ヤブジャブと言う音、両側臍傍と臍下左右に抵抗と圧痛、臍上と臍傍に動悸、脈は沈み、弱く、遅い。舌は淡紅色、薄い白苔、両側縁の歯痕、舌下静脈の軽度怒張。当帰芍薬散+六君子湯+附子を処方。二ヶ月後むくみ、胃のもたれ減少。六ヶ月後、冷えの感じが減少し始めた。三年後、長所がよいが継続中。

二九歳女性、産後の出血（出産後五〇日）、腰痛、倦怠感を訴え来院。顔色は普通。お腹は軟らかく、両側臍傍に軽度の抵抗、臍下に動悸、脈は細く速い。舌は紫紅色、薄い黄苔、舌下静脈の怒張。子宮は硬く鶏卵大（子宮腔内に液体貯留）、卵巣は正常。子宮腔内を消毒し、液体を吸引し、芍婦調血飲第一加減、サフランを処方。一週間後、腰痛、倦怠感消失、子宮腔内液体貯留減少。子宮腔をもう一度消毒。同処方。二週間後治癒。

次回は、腎についてです。



〔院長〕



脳出血・脳梗塞

手足の麻痺（しびれ）、歩行障害、言語障害（ろれつが回らない）“飲みすぎ”“疲れ”“年のせい”と思いがちですが、脳梗塞（血栓）の初期のこともあります。数分～数時間だけのこともあります。脳硬塞（出血）後遺症は漢方薬のよい適応になります。



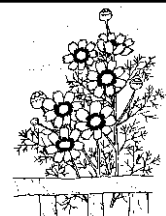
更年期障害

女性ホルモンが不足し始めると、それまでと違い、筋肉、血管、関節、骨などの弾力性が低下してきます。心も体も硬くなり、人との係りや環境に敏感になってきます。このことをよく理解して下さい。当院の治療の中心は漢方薬です。

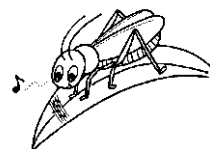


冷え症

虚弱体質（青白い顔、弱い脈）、胃下垂（食欲不振、胃もたれ）、末梢循環障害（瘀血）、自律神経失調症（冷えのぼせ、頭痛動悸、異常発汗）を改善し、冷房や食品の寒熱に注意して下さい。漢方薬の治療も効果的です。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。50～60分煮て作ります。

当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかりと蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫で保管して下さい。漢方薬が固まりやすい場合、当院の漢方薬専用容器(無料)をご利用下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膵炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、尋麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、陰分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

処置診

処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザーをご希望の方、診察券を入れ受診者名簿に、氏名を書き処置の欄にチェックして下さい。

皮内針

内皮針は1～2mm、針管付き鍼は3.0mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、膝関節痛、神経痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫・・・などの治療に利用しています。

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏 ・太乙膏 ・アガリスク ・メシマコブ
- ・靈芝 ・AHCC ・サメ軟膏

在宅訪問診療とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、計画的に診療と治療を行います。往診と違い、定期的に(月に2～72回)訪問診療を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅診療についてお気軽にご相談下さい。

漢方入浴剤

美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

寝たきり老人在宅総合診療とは

病院及びその他あらゆる老人用施設に入所できず、家庭で家族が介護している人の家に行き、居宅療養のお手伝いをする制度です。
費用は1割の負担になります。
介護保険に制約されません。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午 (月～土)	○	妊婦外来	○	○	妊婦外来	○	—
午後5:30～午後7:30 (月、水、金)	○	—	○	—	○	—	—

- ◆漢方外来(月～土)：内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科・・・など全科
 ◆更年期外来(月・夕方)：更年期の方、思春期の方(女性、男性、どなたでもお越し下さい)
 ◆不妊外来(水・夕方)：赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになります)
 ◆妊婦外来(火、金)：妊婦健診、妊娠中の方(火) 午前11:00～正午は赤ちゃん健診、産後健診
 ◆助産婦相談(第2、3金)：妊婦相談、乳房相談、育児相談 午前8:40～午後12:30(日程は掲示)

前期と中期-母親教室

日時：10月3日、11月7日、12月5日(金)
1月9日、2月27日(金)

対象：妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)

場所：当院1階 申込方法：申込ノートでご予約して下さい。

後期-母親教室

日時：10月8日、22日、11月5日、19日、
12月3日、17日、1月7日、2月18日(水)

対象：妊娠8～10ヶ月の方(定員5名)(無料)

お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。

母親教室ティータイム

“ショーソンプンム”はアップルパイのことで、サクとした生地で、まざりけなしのリンゴのコンポートを包みました。
 “デニシュ ペストリー”は、17世紀にオーストリアの首都ウィーンで生まれ、その後、デンマークで発達したパンです。パイの生地の薄皮が何層にも重なった中に、色々なトッピングが入ったおしゃれな菓子パンです。



産 後 の 出 血

疲労、胎盤遺残、卵膜遺残、感染症などが原因で、子宮収縮が悪いと産後に出血を起こし易くなります。当院では、分娩直後、子宮内腔、腔内、外陰部からの出血に注意すると共に、産後3～4日、10～11日に腔式超音波検査で子宮内腔の状態をていねいにチェックしています。必要に応じて、悪露を排出させたり、内服薬を処方しています。



当院で分娩を予定しておられる方

妊娠34週までに受付で予約して下さい。
 ご予約には分娩予約カードと予約金5万円が必要です。
 予約された方に、母と子のてびきをお渡します。

立会い分娩

あらかじめ、受付でお申し込み下さい。

携帯ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp/i/>)

助けて ウッキー！ DRウッキーの悩み相談
 婦人科 産科 漢方 友達に教える 外来診療の
 ご案内などを掲載 (i-mode対応)

パソコンホームページ (<http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>)

漢方のページ(症例多数、漢方について)
 産婦人科のページ 当院の案内、当院への交通
 周辺の観光地など掲載。

助産婦相談

妊娠中、分娩、母乳、育児の相談と健診の説明。
 お一人およそ15～20分に対応します(無料)。
 日時：第2、3金曜日 午前8:40～午後12:30

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
 日時：毎週火曜日 午前11:00～正午(有料)

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

従業員募集

看護師、助産師(常勤、パート)。面接：随時、
 各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給。